

## 総合防災訓練の実施結果等について

### I. 増設施設を対象とした総合防災訓練の実施結果について

1. 実施日時 平成25年4月23日(火) 10時00分～11時10分(天候:晴れ)
2. 場所 北海道事業所 増設施設及び当初施設
3. 参加人員・装備【合計149名】
  - 公設消防隊：隊員36名、車両：11台  
(指令車1、消防車4、はしご車1、救急車1、その他車両4)
  - 日本環境安全事業(株)(JESCO)：38名
  - 室蘭環境プラントサービス(株)(MEPS)：75名

#### 4. 訓練の目的

今回の防災訓練は、本年9月操業予定の増設施設へのPCB廃棄物搬入(6月初旬予定)に先立ち、増設施設における火災・地震の発生と津波警報発報を想定して、緊急地震速報受信時、地震時の避難、設備点検の確認、火災・負傷者発生時の対応、高所要救助者発生時の対応、及び津波警報発生時の避難等の状況を確認した。

#### 5. 訓練概要

今回の訓練事象は、①地震発生(震度4程度)、②火災発生(協力会社詰所から出火)、③地震により作業員が負傷(PCB汚染なし)、④作業員が屋上から避難できず、という想定で実施した。

その結果、予定していた以下の訓練項目

- (1) 緊急地震速報受信時の行動(棚等から離れ、机下に頭を入れる、等)
- (2) 地震計吹鳴(40gal以上:想定60gal)→避難、対策本部、指揮本部、消防隊設置(職員駐車場)
- (3) 設備点検の実施
- (4) 火災発生時の初期対応(放水訓練含む)及び連絡
- (5) 高所要救助者発生時の対応及び連絡
- (6) 津波警報発生時の避難
- (7) 上記通報連絡

をJESCO、MEPS及び室蘭市消防本部の連携の下、滞りなく消化し、総合的な防災活動が確実に実施できることを確認できた。

#### 6. 反省事項

訓練の反省会を4月25日に実施した。主な反省点は以下のとおり。

- (1) ハード面
  - ① 火災発生場所が不明確 → 「火」マークを準備する。
  - ② 無線連絡機が不足気味 → 増設の操業に合わせて追加予定である。

- ③ 見やすい図面がなかった → 緊急用の図面を見やすく改良する。
- ④ ホワイトボードが倒れそうだった → 土嚢などの重しを準備する。

(2) ソフト面

- ① ガル数や負傷状況の对外報告なし → FAX 報告に記載する。
- ② 中制と各隊の連携がよくなかった → 中制及び各隊に連絡員を配置して連絡を密にする。
- ③ 消防車の動きが不明 → 事前説明会で消防車の動線を周知する。
- ④ 中央制御室からの情報が不足 → 全館放送の頻度を増やす。
- ⑤ 班員が不足、班員の役割が不明確 → 適正に配置して事前教育を実施する。
- ⑥ 消火班員の点呼未実施や装備不備 → 危険箇所への出動前後の点呼、ライフゼムの装着
- ⑦ 公設消防への情報提供が不足 → 対策本部や避難誘導班の役割の再確認

7. 訓練状況

添付資料に訓練の写真（実施時刻入り）を示す。

II. 当初施設を対象とする総合防災訓練の実施予定について

1. 実施日時 平成25年9月9日(火) 10時00分～
2. 場 所 北海道事業所 当初施設
3. 参加人員・装備  
公設消防隊： 除染テントを設営する。  
日本環境安全事業(株)： 当初施設に属する所員  
室蘭環境プラントサービス(株) (MEPS)： 当初施設に属する消防隊員
4. 訓練概要  
火災の発生、負傷者の発生及びPCBに汚染された作業員が発生し、消火・救助・除染活動を実施する。

以 上



平成25年度 増設施設総合防災訓練状況 (2013-4-23)

【実施日】 2013年4月23日(火) 10:00~11:10  
【訓練目的】本年9月操業予定の増設施設へのPCB廃棄物搬入に先立ち、JESCO、MEPS、室蘭市消防本部が連携して、増設施設における火災・地震の発生と津波警報発報を想定して、緊急地震速報受信時、地震時の避難、設備点検の確認、火災・負傷者発生時の対応、高所要救助者発生時の対応、津波警報発生時の避難等の総合的な防災活動が的確に実施できることを確認する。  
【参加人員】MEPS75名、JESCO38名、公設消防36名、 合計149名；【消防車】11台(指令車1台、はしご車1台、消防車4台、救急車1台、その他車両4台)



中制:緊急地震速報受信 全館放送



緊急地震速報放送後のJESCO(当初)事務所



青木所長:当初施設 避難、自衛防災隊へ指示



MEPS従業員の避難誘導状況



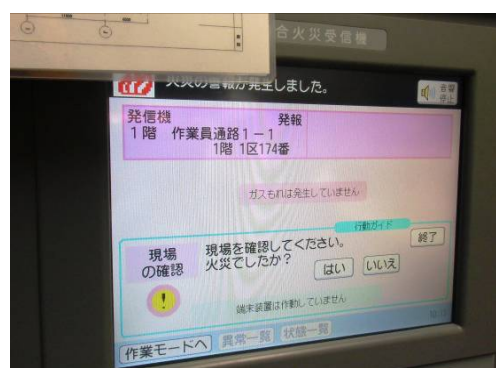
消防隊 設置完了



対策本部長:連絡・渉外班長へ対外第1報指示



対策本部長:副本部長へ室蘭の震度・津波情報の確認を指示→震度4、津波注意報発令を報告



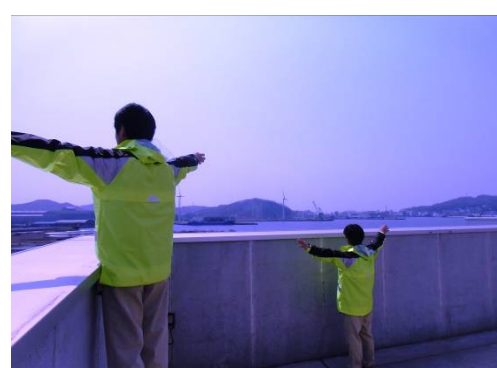
火災報知器吹鳴 (中制 表示)



消防隊長:消防隊へ火災確認を指示



指揮本部長:中制へ119番通報を指示 (火災発生、初期消火失敗、負傷者、要救助者)



屋上の要救助者



消火班長:放水開始指示



消火班:放水消火失敗、消防隊長へ連絡



公設消防隊 到着



対策本部長:公設消防隊へ状況説明、救助要請、指揮権委譲





公設消防隊 現場指揮本部設置、活動指示  
(負傷者救助、消火、屋上作業員救助)



公設消防隊:負傷者の救助



公設消防隊:放水消火状況



公設消防隊:放水消火状況



公設消防隊:救急車で負傷者の搬送



公設消防隊:梯子車での救出作業



公設消防隊:梯子車での救出作業



公設消防隊:梯子車での救出作業



公設消防隊:梯子車での救出作業



連絡・渉外班:連絡第3報完了を報告



公設消防隊:対策本部長へ  
救助、消火完了報告 指揮権の返還



指揮本部長(増設):対策本部長へ  
増設施設異常無の報告



対策本部長:連絡・渉外班長へ対外第4報指示



記録班長:「10:47津波警報」発令を記録



当初施設職員:点呼完了(2Fホール)



全職員、公設消防隊 整列



来賓講評(胆振総合振興局 津島主幹)